

防災対応 マニュアル

株式会社彩海

放課後等デイサービス ルナネスト

防災対応マニュアルの目的

地震や火事、水害など様々な災害が発生した際、最も重要なことは利用者とスタッフの命と健康を守ることです。その為には、日ごろからスタッフの防災意識を高め、訓練を行い対応力を向上させる必要があります。本マニュアルでは、それぞれの災害に対しての対応方法と具体的な行動を記載しています。事前にスタッフ間で熟読し研修などでシミュレーションする等、有事に備える行動をお願いいたします。

本マニュアルで記述する災害の種類

- 1 火災
- 2 地震
- 3 水害
- 4 ミサイルの飛来

※不審者対応については、別マニュアルを参照すること

火災について

【火災についての考え方・平時からの対応】

ルナネストでは、基本的にガスを使った調理などの活動は行いません。その為、火災のリスクが大きいのは、漏電と調理イベントでコンロを使用する際です。それぞれについて、リスクを最小限に抑える対応が必要になります。

(1) 漏電対策

電源プラグの周囲に付着したホコリが湿気を帯びると、そこから発火し火災の原因になります。漏電を抑えるために、以下の通り対策を行います。

- ① 定期的に電源プラグを抜き、周りのホコリを除去する。
- ② 使わない電源プラグは抜いておく。
- ③ 電源タップを使用する際は、既定のワット数を超えないように注意する。

(2) 調理イベント等での対策

ルナネストでは基本的にガスや火を使った活動は行いませんが、調理実習イベントなどでガスコンロやオーブンを使う場合もあります。その際は下記の点に注意して使用してください。

- ① コンロ、オーブンの周囲から、可燃物を取り除く。
- ② 使用しない際は、ボンベを外しておく。
- ③ 使用する際は、子どもだけで近づけないようにスタッフが管理する。

【火災発生時の対応】

(1) 初期消火・119への通報を行う

- ※事務所内冷蔵庫横の消火器で初期消火を行う。
- ※併せて119へ通報を行う。
- ※(1)(2)は同時並行で行うこと。

(2) 事業所外への避難を行う

- ①避難経路を確保し、まずは事業所の外に出る。
 - ②避難の際はハンカチ等で口と鼻を覆い、身をかがめて移動する。
 - ③利用者全員を点呼確認する。
- ※手荷物は持たず、迅速に事業所から出ること
 - ※消火が出来なかった場合、(4)を行う。

(3) 体調確認、利用者家族や医療機関等への連絡

- ※状況に応じて、家族や医療機関に連絡し、連携を依頼する

(4) 避難場所への避難誘導を行う

- ※消火が難しく、さらなる非難が必要と判断した場合、避難所への誘導を行う。
- ※避難の際は、事務所にある防災バッグを装備する。
- ※1列に並び、避難所へ誘導を行う。
- ※避難中は事故が発生しないように、複数人のスタッフで対応する。

(5) 避難終了後、(3)を行う

地震について

【地震についての考え方・平時からの対応】

地震は思わぬ時にいきなり発生する災害です。慌てて動いたり屋外に出たりすると、かえってケガの原因になります。落ち着いた行動と、適切な情報収集をして利用者とスタッフの

安全を守りましょう。

(1) 家具等の転倒対策

地震が起きた際の事業所内のリスクとして、配置されている棚などが転倒した際に下敷きになってしまうことが挙げられます。その為、転倒の恐れがある家具に関しては、転倒防止ベルトなどで壁に固定するなどの対策を行ってください。

【地震発生時の対応】

(1) 頭をクッションや腕で守りながら、机の下にもぐる

※揺れが収まるまでは、机の下で待機する。

※棚やロッカーなど、転倒の危険があるもののそばからはすぐに離れること。

(2) 利用者全員の安否を確認する。

※ケガや体調不良が見られた際は、医療機関や利用者家族に連絡をし、連携を行う。

(3) 避難経路を確保する

※事業所の入り口の扉を開ける、散乱した物をよけるなど、通り道を作る。

(4) 情報収集を行う

※インターネット等で、地震の規模や行政の避難指示があるかを随時確認する。

※火災や倒壊のリスクがあるか、事業所内外をチェックする。

(5) 行政からの避難指示・事業所建物の火災、倒壊のリスクがあった場合のみ
避難所へ避難を実施する。

※むやみに建物の外へ出ると、落下物などでけがをする恐れがあるので注意する。

※避難場所は美園小学校

※避難の際は、事務所にある防災バッグを装備する。

※屋外は倒壊した建物などが道を遮っているなどの危険が予想されるため、スタッフが先頭のさらに先を歩き、危険がないか確認する。

(6) 避難終了後、状況に応じて家族や医療機関に連絡をし、連携を依頼する

水害について

【水害についての考え方・平時からの対応】

ルナネストがある群馬県館林市は、利根川や荒川などの大型河川に隣接しています。その為、大雨や台風の際の洪水リスクがあります。水害は事前の情報である程度予測が建てられるため、適切な判断が出来るように情報収集を怠らないようにしてください。

(1) 情報収集の方法

- ・ たてばやし防災情報伝達システム（アプリ）
- ・ インターネット
- ・ 気象庁 HP (<http://www.jma.go.jp>)
- ・ 国土交通省「川の防災情報」(<http://www.river.go.jp/>)
※利根川についての情報を参照すること
- ・ 館林市 HP (<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp/>)
- ・ 館林市ツイッター(@TatebayashiInfo)

(2) 避難実施の判断基準

ア. 市からの避難情報に基づく判断

避難情報等の発令があった場合に、避難等を開始する。

イ. 自主避難の判断

施設周辺への浸水その他の危険現象を察知した際は、市からの避難情報を待つことなく避難を開始するものとし、直ちに市役所へも報告する。危険現象については、安全確保のため、施設内から確認できる範囲で把握し、市役所・消防署等に報告する。

- ・ 館林市に大雨警報（警戒レベル 3 相当）が発表
- ・ 館林市に洪水警報（警戒レベル 3 相当）が発表
- ・ 利根川の水位が、避難判断水位（3.10m）に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合

【水害発生時の対応】

(1) 避難が必要と判断した場合、避難所へ誘導を実施する。

※避難場所は美園小学校

※避難の際は、事務所にある防災バッグを装備する。

※屋外は浸水などの危険が予想されるため、スタッフが先頭のさらに先を歩き、危険がないか確認する。

(2) 避難所に到着後、全員の安否確認を行う。

(3) 状況に応じて、利用者の家族・医療機関などに連絡し、連携を依頼する。

ミサイルの飛来について

【ミサイルの飛来についての考え方・平時からの対応】

弾道ミサイルが日本の領土、領海に落下・通過する際には、全国瞬時警報システム（Jアラート）が発令されます。屋外スピーカーでの放送のほか、携帯電話に緊急速報メールが配

信されます。ミサイルの被害は、J アラート発令後3分以外に発生すると考えられるため、迅速な判断と対応を心がけてください。

【J アラート発生時の対応】

Jアラート発生時に大切なことは、その時にできる最善の行動をとることです。下記から、出来る最善の対応をしてください。

- ①まずは、地下（地下鉄・地下駅舎など）へ避難をする
- ②地下が難しい場合は、頑丈な建物の中に避難をする。
- ③建物の中でも、近くに窓がない場所に移動をする。
- ④着衣やタオルなどで肌を覆い、露出を最小限にする。
- ⑤身を低くかがめ、頭と目を手で覆う。ミサイルの閃光を絶対に見ないようにする。
- ⑥近くにテレビ・インターネット・ラジオがあれば、スイッチを入れて情報収集に努める。
- ⑦時間がある場合は、窓にマットを立てかけるなどし、ガラスの飛散を抑える。
- ⑧行政機関の指示の通り、行動をする。

※送迎中など車内にいる場合、車のガソリンに引火して発火する恐れがあるため、車から離れて地価や建物内に避難すること。難しい場合は、車から離れた場所で低くかがみ、頭を押さえ顔と目を覆うこと。